

学校教育目標	よりよく生きる ～ 自律 ・ 貢献 ・ 感謝 ～ ○主体性 ○コミュニケーション力 ○科学的思考力 ○郷土への貢献	経営理念	<ミッション> 温かなつながりと感動とともに、豊栄の地に質の高い教育を提供する <ビジョン> ○夢や志の実現に向かって、努力し続ける忍耐力と行動力をもつ生徒 ○自身の学びを振り返り、他者の考えを取り入れ、学びを深めることができる生徒 ○自他の生命を尊重し合い、いじめや偏見・差別を許さない生徒 ○ふるさと「豊栄」を大切にし、地域に貢献しようとする生徒
--------	---	------	---

評価計画							自己評価					学校関係者評価		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	1月						
確かな学力	1	○主体的・対話的で深い学びの充実	○自己表現力の育成	○学びの質を高めるための「表現すること」に視点を置いた授業改善	①他者の意見を参考にして自分の考えを再構築している生徒の割合：70%以上 【生徒アンケート「私は、授業等で、他者の意見を参考にし、自分の考えをより良いものにしていくことができる」】	70%								
			○基礎的・基本的な学習内容の定着	○各種テスト等の計画的な実施 ○ミライシード等の活用	②各種学力調査(実力テスト)において、総得点 30%以下の生徒の割合：20%以下	20%								
			○生徒の主体的な学習を促す授業改善の推進	○月1回以上の授業観察	③授業公開：全教員が年度1回以上	100%								
				○ICTを効果的に活用する授業づくり	④授業に満足している生徒の割合：80%以上 【生徒アンケート「授業等は、タブレットを活用しており、分かりやすく満足している」】	80%								
豊かな心・健やかな体	2	○基本的生活習慣の定着	○生活リズムの確立	○起床時刻、就寝時刻の固定	⑤起床時刻、就寝時刻をほぼ固定している生徒の割合：80%以上 【生徒アンケート「普段の生活で、起床時刻、就寝時刻をほぼ固定している」】	80%								
				○食習慣の確立	⑥毎日、朝食を摂っている生徒の割合：90%以上	90%								
		○自己指導力の育成 を 目指した生徒指導の充実	○規律の徹底と規範意識の醸成	○納得と評価による生徒指導の機能的な実施	⑦生徒の自己肯定感の割合：80%以上 ＜小中共通項目＞【生徒アンケート「自分には良いところがある」】	80%								
					⑧場に応じた適切なマナーが身に付いている生徒の割合：70%以上	70%								
		○自己肯定感と自己有用感を高める教育活動の推進	○主体性を尊重した生徒会活動の推進	○生徒主体の行事等を楽しみにしている生徒の割合：70%以上 【生徒アンケート「体育大会や文化祭、トレーニング集会、歌声集会、クラスマッチ、クリーンウオークといった生徒主体の行事に主体的に参加している」】	⑨生徒主体の行事等を楽しみにしている生徒の割合：70%以上	70%								
					⑩学級満足度尺度の不満足群及び非承認群の割合：25%以下	25%								
		○不登校、問題行動、いじめ問題の克服	○不登校、問題行動等の発生件数の減少	○Hyper QU の結果を活用した集団支援	⑪SC・心のサポーターと連携した生徒相談：年3回以上	100%								
					⑫不登校生徒並びに家庭連携：週1回以上 【教職員アンケート「週に1回以上、不登校生徒や家庭と連携している」】	100%								
		○体力・運動能力の向上	○継続的な体力づくりと健康な体づくりの推進	○新体力テストの結果に基づく運動内容の充実	⑬トレーニング集会の計画的な実施：月3回以上	80%								
				○部活動への自主的参加	⑭部活動に意欲的に取り組む生徒の割合：85%以上	85%								
信頼される学校	3	○地域の活性化に貢献できる学校づくりの推進	○地域に感謝し、貢献しようとする生徒の育成	○地域行事への積極的な参加を促す	⑮地域に愛着を感じている生徒の割合：80%以上 【生徒アンケート「今、住んでいる地域が好きである」】	80%								
			○小中・中高の連携教育の充実	○異校種との積極的な交流や連携	⑯小学校や高等学校との交流は、ためになると考える生徒の割合：70%以上 【生徒アンケート「小学校との交流や高校との交流は、自分の中学校生活を充実させるものとなっている」】	70%								
		○働き方改革の推進	○働きやすい職場づくりの推進	○学校組織の適正化と分掌等役割配分の適正化	⑰県費負担教職員の勤務時間外在校等時間の月平均：45 時間以下	90%								
					⑱県費負担教職員の年度内の年次有給休暇取得日数：12日以上	50%								

■自己評価 4: 目標を上回って達成 3: 目標どおりに達成 2: 目標をやや下回って達成 1: 目標をかなり下

■学校関係者評価 A...とても適切である B...概ね適切である C...あまり適切でない D...全く適切でない (N...判定で